



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A.アーテック

2024～
2025年度
テーマ

R.I.2720地区テーマ

「寛容な心でロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー

三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ

「ロータリーに目的を持ち
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長

宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1535 回

2024 - 2025 年度 第 10 回

令和 6 年 10 月 7 日

【例 会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「君が代」
「友と語ろう」（グリーン RC の歌）

来訪者紹介

なし

友情の握手

会長スピーチ（宮部 康弘 会長）

本日は 10 月の米山月間ということで、米山記念奨学会について私が調べたことをお話したいと思います。

2024 年度には、926 人が奨学金の対象者となっています。一人当たり月 10 万円から 14 万円の奨学金を支給しており、この支援のおかげで奨学生たちは勉学に励むことができます。国籍別の内訳を見てみると、中国が 377 人、ベトナムが 135 人、韓国が 119 人となっており、調べてみて気付いたのは、主にアジア諸国の学生たちの割合が多いなと感じました。これまでに支援してきた学生の数は 24,133 名にも上ります。

今年度は 13 億 1 千万円の奨学金を支出しており、収入の 14 億 7 千万円のうち、実に 89%が奨学金として使われています。当クラブでも毎年、会費から 1 人当たり 6,000 円の寄付を行っています。また、2720 地区全体では昨年度の寄付金額が増加しており、一昨年と比べて全国で 4 番目に大きな増加を記録しています。

この奨学金を受けて素晴らしい活動をしている方々もいらっしゃいます。例えば、神戸大学で博士・修士課程を修了した中国の陳林さんは、コロナ禍で日本中がマスク不足に陥った際、「今こそ奉仕の時」として中国の知人たちに呼びかけ、自国も大変な状況にある中で 6 万 5 千枚のマスクを日本に届けてくださいました。また、当会が担当した奨学生の黄さんは昨年より 200 万円の寄付を 2 回に渡りグリーンロータリーの名前で行っています。そして、ゴパルくんは「いつか故郷に帰り、水道インフラを整え、毎朝 2 時間も水汲みをしている子どもたちに勉強する時間を届けたい」と話していました。

このように、私たちが行っている寄付が世界中に奉仕の輪を広げ、そしてその輪が巡り巡って再び私たちのもとに戻ってきていることを感じました。米山記念奨学会について調べる中で、ロータリーに関わることでこの世界規模の奉仕の輪の一員となっていることを誇らしく思いました。ぜひ皆さんも、その一員であることを誇りに思っただけであればと思います。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

- 10/21 「観月例会」★例会場所変更（於：神水茶寮）
- 10/28 米山奨学生の卓話（予定）
- 11/4 祝日休会
- 11/11 熊本北RCとの合同例会

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

最後になります、本日欠席されている方々に対してもぜひ関心を持っていただき、メーカーキャップ（出席の補完）への声かけをお願いいたします。

幹事報告 (河島一夫 幹事)

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本中央 RC]

10月25日（金）の例会は、チャリティーゴルフ懇親会のため、同日 18:30 より ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて行います。サインメーカーキャップは行いません。

●例会取り止め

[熊本中央 RC]

10月18日（金）の例会は、定款に基づき、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本西南 RC]

10月17日（木）と10月31日（木）の例会は、クラブ定款に基づき、取り止めます。17日は、サインメーカーキャップは行いません。

出席報告 (クラブ管理運営 荒木一之 会員)

	会員総数	20名	出席率
10月7日	出席免除会員数	0名	50.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	10名	
9月9日	前回の出席会員数	14名	75.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・ 9/25 熊本グリーンローターアクト例会 齋藤 君			

スマイル (山下 佳介スマイル担当)

●宮部康弘 君、河島一夫 君

「山口さんの卓話楽しみにしていました。本日もよろしくお願い致します。」

●山口悦史 君

「本日は卓話を担当させていただける事。大変感謝しております。宜しくお願い致します。」

●山下佳介 君、栗山義則 君、荒木一之 君
田中慎二 君、田中純司 君

①「今日は山口さんの会員卓話という事で、よろしくお願ひします。」

②「同じ業界ですが、山口さんは損害保険がメイン私は生命保険がメインなので、とても楽しみにしています。（山下）」

3. 例会プログラム

卓話者：山口悦史

「新入会員卓話」



山口悦史会員

4. 閉会・点鐘

「熊本グリーンRC第1回親睦ゴルフ会報告」

第1回 親睦ゴルフ会 スコア

日時 2024年10月9日(水)

場所: 熊本南カントリークラブ

名前	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	順位	次回HD
田代 武	49	46	95	29	66	優勝	19
宮部 康弘	44	40	84	4	80	2	
田中 純司	54	52	106	16	90	3	
山下 佳介	50	47	97	6	91	4	
山口 翼	66	59	125	33	92	5	
濱州 真剛	46	47	93			ビジター	
琴音リンダ	46	44	90			ビジター	
黒川 繁治	53	50	103			ビジター	

ニアピン	7番	宮部 康弘		
ニアピン	12番	琴音リンダ		
ニアピン	18番	琴音リンダ		
ドラコン	7番	濱州 真剛		
ドラコン	2番	山下 佳介		

【地区のニュース】

ローターアクト第40回年次大会が開催されました

熊本南RAC

広報 原口 美季

10月5～6日にローターアクト第40回年次大会が開催されました。

今年で40回という記念すべき大会に多くの方のご参加、誠にありがとうございました。

本大会のテーマ《イノベーション》

知識や想いを行動に移すことで、失敗を恐れずに挑戦すること、新たな考えや技術を取り入れ、新しい価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらせるような大会にしたいと準備してきました。



「八代ローターアクトクラブ会長の宮崎です。第2720地区ローターアクト第40回年次大会に多くの皆様に、ご登録・ご参加いただき誠にありがとうございました。メインプログラムの<シン・八代空想都市>では各グループによる新たな魅力の創造とビジネスモデルの創出をしていただき、発表を市役所の方にも聞いていただきました。この年次大会が地域やクラブのイノベーションの足掛かりとなりま

したことを嬉しく思います」

年次大会実行委員を務めました下田です。本大会を通じて2720地区はもちろん、他地区の方々との交流も深まったと思います。ご多忙の中、八代までお越しいただきありがとうございました」

提唱ロータリークラブであります、八代ロータリークラブの皆様をはじめ、多くの方々に多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

大津支援学校生徒さんとの交流会

(肥後大津RC)

肥後大津RC

桐原 大

熊本県菊池郡大津町の大津支援学校と交流を始めて3年目になります。1年目は校内の草刈り作業と学校見学、2年目に小学部の子どもたちとバスを貸し切って菊陽町の人形劇鑑賞を行いました。今年3年目は高等部2年、1年の生徒さんと社会人に向けての心構えや質疑応答、ポッチャでの交流を行いました。社会に出る前に少しでも事業所のメンバーと交流をすることで将来、働くことへの意欲に繋がってもらえればと思っています。(新聞記事は下段)

「肥後大津ロータリークラブ」の会員(左側2人)に質問する
大津支援学校高等部の生徒=3日、大津町



大津支援学校で社会人に学ぶ企画

将来の仕事 興味わくわく

大津町の大津支援学校で3日、高等部1、2年生と地元社会人との懇談会が初開催され、生徒14人は「肥後大津ロータリークラブ」の会員7人に将来の仕事について助言を求めた。

社会人として必要な能力や態度を学んでもらおうと、同校が企画。生徒と会員は3班に分かれ、20分交代で質疑応答した。

保育士を目指す生徒が勉強法などについて尋ねると、放課後等デイサービスを運営する会員は「子どもが好きなことが第一。不安を感じることなく、諦めないで頑張ると」とエールを送った。

生徒からは「ミスをしたら解雇さ

れますか？」という「直球」の質問も飛んだ。廃棄物処理・リサイクル業の会員は「ミスは誰でもする」と笑顔。「次にミスしないため、どうすれば良いのかを考えれば大丈夫」と助言した。

「ミスに敏感な生徒にとっては、うれしい言葉だったはず」と田崎弘明校長。2年の女子生徒は「教えてもらったことを参考に、将来に向けて頑張る」と謝辞を述べた。同クラブの桐原大会長は「社会に出れば、分からないことがたくさんあるはず。周りの方に気軽に相談してほしい」と話した。パラスポーツ「ポッチャ」での交流もあった。

(草野太一)